

7.2.3 臨床研修行動目標（抜粋）

I 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

(1) 患者・医師関係

(略)

(2) チーム医療

(略)

(3) 問題対応能力

患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付けるために、

1) 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる(EBM =Evidence Based Medicineの実践ができる。)

2) 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。

3) 臨床研究や治験の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。

4) 自己管理能力を身に付け、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める。

(4) 安全管理

(略)

(5) 症例呈示

(略)

(6) 医療の社会性

(略)

(以下略)

II. 新医師臨床研修制度における指導ガイドライン（試行版）

臨床研修の到達目標

【到達目標】

I 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

II 経験目標

A 経験すべき診察法・検査・手技

B 経験すべき症状・病態・疾患

C 特定の医療現場の経験